

次代を担う若き和牛農家

溝端真也さん

(清見町藤瀬・29歳)

父が経営する農場で家族や従業員とともに、約500頭の飛驒牛を育てる。

10月の全国和牛能力共進会では、第6区の岐阜県代表の一人として日本一を目指す。



出品牛の「らみ」とともに



— 県代表が決まった時は、嬉しさと同時に大きなプレッシャーを感じました — と話すのは溝端真也さん。

10月に長崎県で開催される第10回全国和牛能力共進会(全共)で、第6区(高等登録群)に出品します。

第6区とは、母牛と娘牛、そして孫娘牛の親子3代を1チームとして出品し、溝端さんは孫娘牛(名は「らみ」とともに日本一を目指します)。

同じく第6区で母牛と娘牛を出品するのは、久々野町で繁殖農家を営む上野弘平さん。上野さんから孫娘牛を生後8カ月で買い取って以来、溝端さんとらみとの訓練生活が始まりました。「私に慣れるまでは大変でしたが、先輩農家のアドバイスや飼育の工夫で今は大丈夫です」と話し、「らみ」の気が小さい性格は私が守ってあげるんです」と笑顔をのぞかせました。

— 全共を目指すは日本一 —
そして「審査が終わってから悔いを残さないように、毎日やれることは全てやり遂げる」と意気込みを話す中、「将来は、日本中の人に『牛といえば飛驒牛』と言ってもらえるよう、知名度を上げるためにも全共に向けてがんばります」

「みなさんがひとつこころになっ
て支えてくれるの
で応えたい」と訓
練に余念がありま
せん。

みんなで応援しよう! 飛驒牛応援協力 金にご協力を

募金箱は本庁1階総合受
付・6階畜産課、各支所窓
口にあります(7月31日
まで)

高山市飛驒牛応援
実行委員会事務局
(畜産課内)
☎35-3142

問合せ先



朝市で四季を感じ 朝市で元気を補給 高山市長 國島芳明



先日、私が出演するケーブルテレビの番組「ハイ、市長です」にご出演いただくため、飛驒高山宮川朝市協同組合のみなさんが市長室に新鮮野菜を持参して訪れてくださいました。とれたての野菜は彩りがよくどれもがみずみずしく、おいしさがぎゅつと詰まっています。

店頭に並ぶ品物には、早いもので一週間で旬が過ぎるものもあるとのこと。高山の旬が「ぎゅぎゅつ」と詰まった台所「朝市」は、まさしく高山の四季を目と舌で感じる事ができるアンテナショップです。売り手の方のお喋りに花を咲かせ、地元の野菜を味わい、身も心もリフレッシュする、高山らしいスローライフな過ごし方をしてみませんか。もちろん野菜だけではなくありません。地元にはお米、果物、お肉、牛乳など、どれをとっても上質な食材がそろっています。地元の食材をたくさん食べて、夏を元気に乗り切りましょう。